



**回神さまが覚える、民が覚える**  
**Gen 8** : 1 神はノアと、箱舟の中にいたすべての生き物と、すべての家畜とを心にめづられた。・・・  
**Gen 9** : 16 にじが雲の中に現れるとき、あなたはこれを見て、神が地上にあるすべての肉なるあらゆる生き物との間に立てた永遠の契約を思いおこすであろう。  
**Deu 5** : 15 あなたはかつてエジプトの地で奴隷であったが、あなたの神、主が強い手と、伸ばした腕とをもって、そこからあなたを導き出されたことを覚えておきなさい。  
**Deu 8** : 2 あなたの神、主がその四十年の間、荒野であなたを導かれたそのすべての道を覚えておきなさい。

嘆き：患みが無い(約束、楽しみ)

1 私は神にむかい声をあげて叫ぶ。  
私が神にむかつて声をあげれば、  
神は私に聞かれる。  
2 私は悩みの日に主をたすね求め、  
夜はわが手を伸べてたゆむことなく、  
わが魂は慰められるのを拒む。  
3 私は神を思うとき、嘆き悲しむ、  
深く思うとき、わが魂は衰える。(セラ)  
4 あなたは私のまぶたをささえて閉じさせず、  
私は物言うこともできないほどに悩む。  
5 私は昔の日の思い、  
いにしえの年を思う。  
6 私は夜、わが心と親しく語り、  
深く思うてわが魂を探り、言う、  
7 「主はとこしえにわれらを捨てられるであろうか。  
ふたたび、めぐみを施されないであろうか。  
8 そのいつくしみはとこしえに絶え、  
その約束は世々ながくすたれるであろうか。  
9 神は恵みを施すことを忘れ、怒りをもって  
そのあわれみを閉じられたであろうか」と。  
10 その時私は言う、「私の悲しみは  
いと高き者の右の手が変わったことである」と。  
11 私は主のみわざを思い起す。  
私は、いにしえからの  
あなたのくすしみわざを思いいだす。  
12 私は、あなたのすべてのみわざを思い、  
あなたの力あるみわざを深く思う。  
13 神よ、あなたの道は聖である。  
われらの神のように大いなる神はだれか。  
14 あなたは、くすしみわざを行われる神である。  
あなたは、もろもろの民の間に、その大能をあらわし、

**回ミデヤン人と戦っているときにギデオンが言う**  
**Jdg 6** : 13 ギデオンは言った、「ああ、君よ、主がわたしたちと共におられるならば、どうしてこれらの事がわたしたちに臨んだのでしよう。わたしたちの先祖が『主はあれあれをエジプトから導きよられたではないか』と、わたしたちに告げたそのすべての不思議なみわざはどこにありますか。今、主はわたしたちを捨てて、ミデヤンびとの手にわたされました。」

**回右の手を引込める**  
**Psa 74** : 11 なぜあなたは手を引かれるのですか。なぜあなたは右の手をふところに入れておかれるのですか。

**回奴隷の家から救い出す、私は主である**  
**Exd 6** : 2 神はモーセに言われた、「あなたは主である。・・・5 あなたはまた、エジプトびとが奴隷としているイスラエルの人々のうめきを聞いて、あたしの契約を思い出した。

**回過越祭(連れ出された日を覚えて)**  
**Exd 13** : 3 モーセは民に言った、「あなたがたは、エジプトから、奴隷の家から出るこの日を覚えておきなさい。主が強い手をもって、あなたがたをここから導き出されるからである。

**回ダビデが契約の箱を天幕に**  
**1Ch 16** : 9 主にむかって歌え、主をほめ歌え。そのもろもろのくすしみあざを語れ。  
: 12 ・・・主のなされたくすしみあざと、その奇跡と、そのみ口のさばきとを心にめよ。  
: 15 主はとこしえにその契約をみこころにとめられる。これはよろよりに命じられたみ言葉であって、

みあざを覚える(主の道)

みあざ中のみあざ(海を分ける)  
15 その腕をもつておのれの民をあがなない、  
ヤコブとヨセフの子らをあがなわれた。(セラ)  
16 神よ、大水はあなたを見た。  
17 大水はあなたを見ておのき、淵もまた震えた。  
18 雲は水を注いだし、空は雷をどろろかし、  
あなたの矢は四方にきらめいた。  
19 あなたの雷のどろろきは、つむじ風の中にあり、  
あなたのいなずまは世を照し、地は震い動いた。  
20 あなたの道は大水の中にあり、  
あなたの足跡はたすねえなかった。  
21 あなたは、その民をモーセとアロンの手によって羊の群れのように導かれた。

救いのみあざ  
14 われらの神のように大いなる神はだれか。  
13 神よ、あなたの道は聖である。  
12 私は、あなたのすべてのみわざを思い、  
あなたの力あるみわざを深く思う。  
11 私は主のみわざを思い起す。  
私は、いにしえからの  
あなたのくすしみわざを思いいだす。  
10 その時私は言う、「私の悲しみは  
いと高き者の右の手が変わったことである」と。  
9 神は恵みを施すことを忘れ、怒りをもって  
そのあわれみを閉じられたであろうか」と。  
8 そのいつくしみはとこしえに絶え、  
その約束は世々ながくすたれるであろうか。  
7 「主はとこしえにわれらを捨てられるであろうか。  
ふたたび、めぐみを施されないであろうか。  
6 私は夜、わが心と親しく語り、  
深く思うてわが魂を探り、言う、  
5 「主はとこしえにわれらを捨てられるであろうか。  
ふたたび、めぐみを施されないであろうか。  
4 あなたは私のまぶたをささえて閉じさせず、  
私は物言うこともできないほどに悩む。  
3 私は昔の日の思い、  
いにしえの年を思う。  
2 私は悩みの日に主をたすね求め、  
夜はわが手を伸べてたゆむことなく、  
わが魂は慰められるのを拒む。  
1 私は神にむかい声をあげて叫ぶ。  
私が神にむかつて声をあげれば、  
神は私に聞かれる。

**回新約時代のしるしと不思議**  
**Act 2** : 22 ・・・ナザレ人イエスは、神が彼をとおして、あなたがたの中で行われた数々の力あるあざと奇跡としるしにより、神からつかあされた者であることを、あなたがたに示されたかたであった。(五旬節のペテロの証言)  
: 43 みんなの者におかれの念が生じ、多くの奇跡としるしどが、使徒たちによって、次々に行われた。  
**Act 6** : 8 さて、ステパノは患みと力に満ちて、民衆の中で、めぐましい奇跡としるしを行っていた。  
**Act 7** : 36 この人が、人々を導き出して、エジプトの地においても、紅海においても、また四十年のあいだ荒野においても、奇跡としるしを行っていたのである。  
**Act 14** : 3 それにもかからず、ふたり(パウロとバルナバ)は長い期間をそこで過ごして、大胆に主のことを語った。主は、彼らの手によってしるしと奇跡とを行わせ、そのめぐみの言葉をあがしされた。  
**Mtt 24** : 24 にせキリストたちや、にせ預言者たちが起って、大いなるしるしと奇跡とを行い、できれば、選民をも惑わそうとするであろう。

## 78

1 わが民よ、わが教を聞き、  
わが口の言葉に耳を傾けよ。  
2 私は口を開いて、たとえを語り、いにしえからの、などを語ろう。  
3 これはわれらが先に聞いて知ったこと、またわれらの先祖たちがわれらに語り伝えたことである。  
4 われらはこれを子孫に隠さず、主の光荣あるみわざと、その力と、主のなされたくすしみわざとをきたるべき代に告げるであろう。  
5 主はあかしをヤコブのうちにたて、おきてをイスラエルのうちに定めて、その子孫に教うべきことをわれらの先祖たちに命じられた。  
6 これは次の代に生れる子孫がこれを知り、みずから起って、そのまた子孫にこれを伝え、7 彼らをして神に望みをおき、  
神のみわざを忘れず、その戒めを守らせるためである。  
8 またその先祖たちのようにかたくなで、そむく者のやからとなり、その心が定まりなく、その魂が神に忠実でないやからとならないためである。

59 神は聞いて大いに怒り、  
イスラエルを全くしりぞけられた。  
60 神は人々のなかに設けた幕屋なるシロのすまいを捨て、  
61 その力をとりことならせ、  
その栄光をあだの手にわたされた。  
62 神はその民を苦しむにわたし、  
その嗣業にむかつて大いなる怒りをもたされた。  
63 火は彼らの若者たちを焼きつくし、  
彼らのおとめたちは婚姻の歌を失い、  
64 彼らの祭司たちはつるぎによって倒れ、  
65 そのとき主は眠った者のさめたように、  
勇士が酒によって叫ぶように目をさまして、  
66 そのあだを撃ち退け、  
とこしえの恥を彼らに負わせられた。  
67 神はヨセフの天幕をしりぞけ、  
エフライムの部族を選ばず、  
68 エダの部族を選び、  
神の愛するシオンの山を選ばれた。  
69 神はその聖所を高い天のように建て、  
とこしえに基を定められた地のように建てられた。  
70 神はそのしもべダビデを選んで、  
羊のおりから取り、  
71 乳を与える雌羊の番をするところからつれて来て、  
その民ヤコブ、その嗣業イスラエルの牧者とされた。  
72 こうして彼は直き心をもって彼らを牧し、  
巧みな手をもって彼らを導いた。

**回良い牧者、まことのぶどうの木**  
**Jhn 10** : 14 あたしはよい羊飼であって、あたしの羊を知り、あたしの羊はまた、あたしを知っている。  
**Jhn 15** : 1 あたしはまことのぶどうの木、あたしの父は農夫である。

**回私に叫べ、そうすれば帰る(都の再建)**  
**Zch 1** : 3 それゆえ、万軍の主はこう仰せられると、彼らに告げよ。万軍の主は仰せられる。あたしに叫べ、そうすれば、あたしもあなたがたに帰ると、万軍の主は仰せられる。  
**Zch 1** : 16 それゆえ、主はこう仰せられます、あたしはあれれみをもってエルサレムに帰る。あたしの家はその中に建てられ、測りな家はエルサレムに張られると、万軍の主は仰せられます。

父は農夫です(右の手で強くする)

良い牧者です(敵から守る)

牧者と羊たち(民となり神となる)

牧場(聖所・民の住まい)

右の手の救い  
18 そうすれば、われらはあなたを離れ退くことはありません。  
われらを生かしてください。  
われらはあなたののみ名を呼びます。  
19 万軍の神、主よ、われらをもとに返し、  
み顔の光を照してください。  
そうすればわれらは救えるでしょう。

ぶどうの木が荒らされている  
14 万軍の神よ、再び天から見おろして、このぶどうの木をかえりみてください。  
15 あなたの右の手の植えられた幹と、みずからのために強くされた枝とをかえりみてください。  
16 彼らは火をもってこれを焼き、これを切り倒しました。  
17 彼らを見顔のとがめによって滅ぼしてください。  
18 かしあなたの手をその右の手の上におき、みずからのために強くされた人の子の上においでください。

民が嘲られている  
7 万軍の神よ、われらをもとに返し、われらの救われるため、み顔の光を照してください。  
8 あなたは、ぶどうの木をエジプトから携え出し、もろもろの国民を追い出して、これを植えられました。

御力による救い  
2 エフライム、ベニヤミン、マナセの前に、  
あなたの力を振り起し、  
来て、われらをお救いください。  
3 神よ、われらをもとに返し、  
み顔の光を照してください。  
4 万軍の神、主よ、  
そうすればわれらは救えるでしょう。  
5 万軍の神、主よ、  
いつまで、その民の祈にむかつてお怒りになるのですか。  
6 あなたは涙のパンを彼らに食わせ、  
多くの涙を彼らに飲ませられました。  
7 あなたは敵はわが隣り人のあざかりとし、  
われらの敵はわが隣り人のあざかりました。

## 80

1 イスラエルの牧者よ、  
羊の群れのようにヨセフを導かれる者よ、  
耳を傾けてください。  
ケルビムの上に座せられる者よ、  
光を放ってください。  
2 エフライム、ベニヤミン、マナセの前に、  
あなたの力を振り起し、  
来て、われらをお救いください。  
3 神よ、われらをもとに返し、  
み顔の光を照してください。  
4 万軍の神、主よ、  
そうすればわれらは救えるでしょう。  
5 万軍の神、主よ、  
いつまで、その民の祈にむかつてお怒りになるのですか。  
6 あなたは涙のパンを彼らに食わせ、  
多くの涙を彼らに飲ませられました。  
7 あなたは敵はわが隣り人のあざかりとし、  
われらの敵はわが隣り人のあざかりました。

血とそしりに復讐  
11 捕われ人の嘆きを、  
あなただけの涙を聞き、  
死に定められた者を守りながらえさせてください。  
12 主よ、われらの隣り人があなたをそしったそしりを七倍にして彼らのふところに報い返してください。  
13 そうすれば、あなたの民、あなたの牧の羊は、  
とこしえにあなたに感謝し、  
世々あなたをほめたたえるでしょう。

怒るのか  
7 彼らはヤコブを滅ぼし、  
そのすみかを荒したからです。  
8 われらの先祖たちの不義をみこころにとめられず、  
あわれみをもって、すみやかにわれらを迎えてください。  
9 われらは、はなはだしく低くされたからです。  
10 どうして異邦人は言うのでしょうか、  
「彼らの神はどこにいるのか」と。  
11 捕われ人の嘆きを、  
あなただけの涙を聞き、  
死に定められた者を守りながらえさせてください。  
12 主よ、われらの隣り人があなたをそしったそしりを七倍にして彼らのふところに報い返してください。  
13 そうすれば、あなたの民、あなたの牧の羊は、  
とこしえにあなたに感謝し、  
世々あなたをほめたたえるでしょう。

血とそしりを受けている  
1 神よ、もろもろの異邦人はあなたの嗣業の地を侵し、  
あなたの聖なる宮をけがし、  
エルサレムを荒塚としました。  
2 彼らはあなたのしもべのしかばねを空の鳥に与えてえさとし、  
あなたの聖徒の肉を地の獣に与え、  
3 その血をエルサレムのまわりに水のように流し、  
4 われらは隣り人にそしられ、  
まわりの人々に侮られ、あざげられる者となりました。

## 79

**回ケルビムの上に座す万軍の主の契約の箱、御力の箱**  
**1Sm 4** : 4 そこで民は人をシロにつかあし、ケルビムの上に座しておられる万軍の主の契約の箱を、そこから携えて・・・  
**2Sm 6** : 2 ところでダビデは立て、・・・この箱はケルビムの上に座しておられる万軍の主の名をもって呼ばれている。  
**2Ch 6** : 41 主なる神よ、今あなたと、あなたの力の箱が立て、あなたの安息所におはしください。・・・

**回御顔を向けて祝福してください**  
**Num 6** : 23 「アロンとその子たちに言いなさい、『あなたがたはイスラエルの人々を祝福してこのように言わなければならない。』  
: 24 「願わくは主があなたを祝福し、あなたを守られるように。：25 願わくは主がみ顔をもってあなたを照し、あなたを恵まれるように。：26 願わくは主がみ顔をあなたに向け、あなたがたに平安を賜るよう。』」

**回御顔を向けて祈りを聞く**  
**2Ch 6** : 20 どうぞ、あなたの目を辱め夜もこの家に、すなわち、あなたの名をそこに置くと言われた所に向かってお聞きください。どうぞ、しもべがこの所に向かってささげる祈をお聞きください。

**回民を攻撃した国々に復讐する**  
**Jer 50** : 28 聞けよ、バビロンの地から逃げ、のがれてきた者の声がする。あれあれの神、主の報復、その宮の報復の事をシオンに告げ示す。  
**Ezk 25** : 17 あたしは怒りに満ちた懲罰をもって、大いなる復讐を彼らにす。あなたがたが彼らにあなたを返す時、彼らはあなたが主であることを知るようになる。』  
**Rev 19** : 2 そのさばきは、真実で正しい。神は、義理で地を汚した大淫婦をさばき、神の僕たちの血の報復を彼女になさったからである。』

**回神の羊たちが主の大庭に入る**  
**Psa 100** : 3 主こそ神であることを知れ。あれらを造られたものは主であって、あれらは主のものである。あれらはその民、その牧の羊である。：4 感謝しつつ、その門に入り、ほめたたえつつ、その大庭に入れ。主に感謝し、そのみ名をほめまつれ。

**回バビロン補因のダニエルの祈り**  
**Dan 9** : 2 ・・・あれダニエルは主が預言者エレミヤに臨んで告げられた・・・エルサレムの荒廃の終るま・・・七十年であることを、文書によって悟った。  
**Dan 9** : 17 それゆえ、あれあれの神よ、しもべの祈と願いを聞いてください。主よ、あなたが自身のために、あの荒れたあなたの聖所に、あなたのみ顔を輝かせてください。：18 あが神よ、耳を傾けて聞いてください。目を開いて、あれあれの荒れたさまを見、み名をもってなえられる町をざんぐってください。あれあれがあなたの前に祈をささげるのは、あれあれの義によるのではなく、ただあなたの大いなるあわれみによるのです。：19 主よ、聞いてください。主よ、ゆるしてください。主よ、み心に留めて、おこなってください。あが神よ、あなたが自身のために、これを延ばさないでください。あなたの町と、あなたの民は、み名をもってなえられているからです。』

**回聖所が荒らされる、七倍の復讐**  
**Lev 26** : 27 それでもなお、あなたがたがあたしに聞き従わず、あたしに逆らって歩むならば、：28 あたしもあなたがたに逆らい、怒りをもって歩み、あなたがたの罪を七倍重く罰するであろう。・・・：31 あたしはまたあなたがたの町々を荒れ地とし、あなたがたの聖所を荒らすであろう。・・・：33 あたしがたを国々の間に散らし、つるぎを抜いて、あなたがたの地を荒れ果て、あなたがたの地の初めは流されてきたすべての預言者の血について、この時代がその責任を問われる。  
**Rev 18** : 24 また、預言者や聖徒の血、さらに、地上で殺されたすべての者の血が、この都で流されたからである。』

**回聖徒の流された血**  
**Lke 11** : 50 それで、アベルの血から祭壇と神殿の間で殺されたガカリヤの血に至るまで、世の初めから流されてきたすべての預言者の血について、この時代がその責任を問われる。  
**Rev 18** : 24 また、預言者や聖徒の血、さらに、地上で殺されたすべての者の血が、この都で流されたからである。』

- 1 わが民よ、わが教を聞き、わが口の言葉に耳を傾けよ。
- 2 わたしは口を開いて、たとえを語り、いにしえからの、なぞを語ろう。
- 3 これはわれらがさきに聞いて知ったこと、またわれらの先祖たちがわれらに語り伝えたことである。
- 4 われらはこれの子孫に隠さず、主の光栄あるみわざと、その力と、主のなされたくすしきみわざとをきたるべき代に告げるであろう。
- 5 主はあかしをヤコブのうちにたて、おきてをイスラエルのうちに定めて、その子孫に教うべきことをわれらの先祖たちに命じられた。
- 6 これは次の代に生れる子孫がこれを知り、みずから起って、そのまた子孫にこれを伝え、7 彼らをして神に望みをおき、神のみわざを忘れず、その戒めを守らせるためである。
- 8 またその先祖たちのようにかたくなで、そむく者のやからとなり、その心が定まりなく、その魂が神に忠実でないやからとならないためである。

回ヨシヤが約束の地で民と契約を結ぶ  
Jsh 24:2 としてヨシヤはすべての民に言った、「イスラエルの神、主は、こう仰せられる、『あなたがたの先祖たち、すなわちアブラハムの父、ナホルの父テラは、昔、ユフラテ川の向こうに住み、みな、ほかの神々に仕えていたが、』  
:15・・・あたしとあたしの家とは共に主に仕えます。』

回サムエルが王を求めた民に証言する  
1Sm 12:6 サムエルは民に言った、「モーセとアロンを立てて、あなたがたの先祖をエジプトの地から導き出された主が証人です。』  
:7 それゆえ、あなたがたは今、立ちなさい。あたしは主が、あなたがたとあなたがたの先祖のために行われたすべての救のあざについて、主の前に、あなたがたと論じよう。

回バビロンから帰還した民の罪の告白(エズラが指導)  
Neh 9:5 それからまたエシュア・・・などどのレビびとは言った、「立ちあがって永遠から永遠にいますあなたの神、主をほめなさい。あなたの尊い名はほむべきかな。これはすべて祝福とさんびを越えるものです。』

回詩篇78, 105, 106, 136

回ステパノの証言  
Act 7:2 そこで、ステパノが言った、「兄弟たち、父たちよ、お聞き下さい。わたしたちの父祖アブラハムが、カナンに住む前、まだメソポタミアにいたとき、栄光の神が彼に現れて

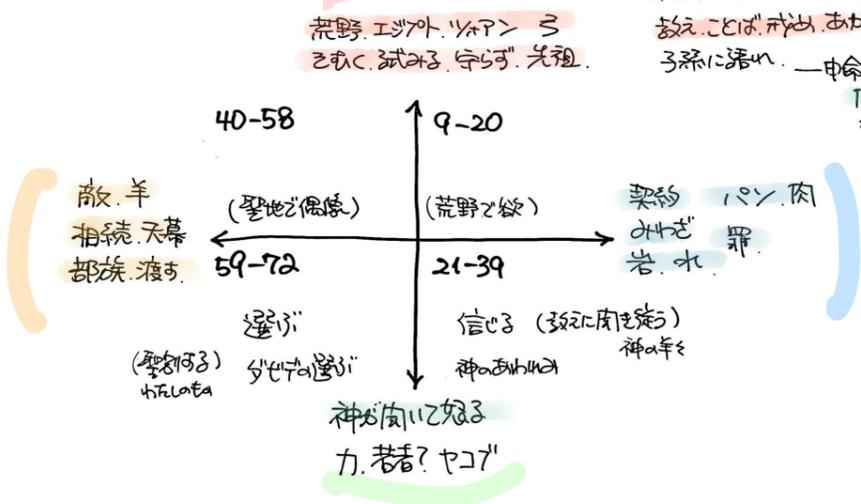
回パウロの導船のごとば  
Act 13:16 そこでパウロが立ちあがり、手を振りながら言った。「イスラエルの人たち、ならびに神を敬うかたがたよ、お聞き下さい。:17 この民イスラエルの神は、わたしたちの先祖を選び、エジプトの地に滞在し、この民を大いなるものとし、み腕を高くさし上げて、彼らをその地から導き出された。

回信仰の先祖たちの証言  
Hbr 11:1 さて、信仰とは、望んでいる事がらを確信し、まだ見ていない事実を確認することである。:2 昔の人たちは、この信仰のゆえに賞賛された。:3 信仰によって、わたしたちは、この世界が神の言葉で造られたのであり、したがって、見えるものは現れているものから出てきたのではないことを、悟るのである。:4 信仰によって、アベルは・・・  
Hbr 12:1 こういうわけで、わたしたちは、このような多くの証人に雲のように囲まれているのであるから、いっさいの重荷と、からみつく罪をかかなく引捨てて、わたしたちの参加すべき競走を、耐え忍んで走りぬこうではないか。

回昔書かれたものは  
Rom 15:4 これまでに書かれた事からは、すべてわたしたちの教のために書かれたのであって、それは聖書の与える忍耐と堅めとによって、望みをいだかせるためである。

1-8

(灰)耳を傾けよ。  
教えることは、神のあかし...  
3系に流れる。申命記4:44-11:1  
神を信じよ... 志し子孫... = 2神+4神



回聞きなさい、忘れるな

Deu 5:1 さてモーセはイスラエルのすべての人を召し寄せて言った、「イスラエルよ、きょう、あなたがあなたがたの耳に語る定めと、おきてを聞き、これを学び、これを守って行え。  
Deu 6:4 イスラエルよ聞け。あれあれの神、主は唯一の主である。:5 あなたは心をつくし、精神をつくし、力をつくして、あなたの神、主を愛さなければならぬ。:6 きょう、あなたがあなたに命じるこれらの言葉をあなたの心に留め、:7 努めてこれをあなたの子らに教え、あなたが家に座している時も、道を歩く時も、寝る時も、起きる時も、これについて語らなければならぬ。:8 またあなたはこれをあなたの手につけてしとし、あなたの目の間に置いて覚えし、:9 またあなたの家の入口の柱と、あなたの門とに書きしるさなければならぬ。  
Deu 32:1 「天よ、耳を傾けよ、あなたは語る、地よ、あたしの言葉を聞け。」

- 9 エフライムの人々は武装し、弓を携えたが、戦いの日に引き返した。
- 10 彼らは神の契約を守らず、そのおきてにしたがって歩むことを拒み、11 神がなされた事と、彼らに示されたくすしきみわざとを忘れた。
- 12 神はエジプトの地と、ゾアンの野でくすしきみわざを彼らの先祖たちの前に行われた。
- 13 神は海を分けて彼らを通らせ、水を立てて山のようにされた。
- 14 昼は雲をもつて彼らを導き、夜は、よもすがら火の光をもつて彼らを導かれた。
- 15 神は荒野で岩を裂き、淵から飲むように豊かに彼らに飲ませ、16 また岩から流れを引いて、川のように水を流れさせられた。
- 17 ところが彼らはなお神にむかつて罪をかさね、荒野でいと高き者にそむき、18 おのが欲のために食物を求めて、その心のうちに神を試みた。
- 19 また彼らは神に逆らって言った、「神は荒野に宴を設けることができるだろうか。神はまたパンを与えることができるだろうか。民のために肉を備えることができるだろうか」と。
- 20 見よ、神が岩を打たれると、水はほとばしりいで、流れがあふれた。神はまたパンを与えることができるだろうか。
- 40 幾たび彼らは野で神にそむき、荒野で神を悲しませたことであろうか。41 彼らはかさねがさね神を試み、イスラエルの聖者を怒らせた。42 彼らは神の力をも、神が彼らをあだからあがなわれた日をも思い出さなかった。
- 43 神はエジプトでもろもろのしるしをおこない、ゾアンの野でもろもろの奇跡をおこない、44 彼らの川を血に変らせて、その流れを飲むことができないようにされた。45 神ははえの群れを彼らのうちに送って彼らを食べさせ、かえるを送って彼らを滅ぼされた。46 また神は彼らの作物を青虫にわたした。47 神はひょうをもつて彼らのおどろきの木を枯らし、霜をもつて彼らのいちじく桑の木を枯らされた。48 神は彼らの家畜をひょうにわたした。49 神は彼らの上に激しい怒りと、憤りと、恨みと、惱みと、滅ぼす天使の群れとを放たれた。50 神はその怒りのために道を設け、彼らの魂を死から免れさせず、そのいのちを疫病にわたされた。
- 51 神はエジプトですべてのういごを撃ち、ハムの天幕で彼らの力の初めの子を撃たれた。52 こうして神はおのれの民を羊のように引き出し、彼らを荒野で羊の群れのように導き、53 彼らを安らかに導かれたので、彼らは恐れることがなかった。
- 54 神は彼らとその聖地に伴い、しかし海は彼らの敵をのみつくした。55 神は彼らの手をもって獲たこの山に伴いこられた。56 神は彼らの前からもろもろの国民を追い出し、その地を分けて嗣業とし、イスラエルの諸族を彼らの天幕に住ませられた。
- 57 狂った弓のようにねじれた。58 彼らは高き所を設けて神を怒らせ、刻んだ像をもつて神のねたみを起した。
- 21 それゆえ、主は聞いて憤られた。火はヤコブにむかつて燃えあがり、怒りはイスラエルにむかつて立ちのぼった。22 これは彼らが神を信せず、その救の力を信用しなかったからである。23 しかし神は上なる大空に命じて天の戸を開き、24 彼らの上にマナを降らせて食べさせ、天の穀物を彼らに与えられた。
- 25 人は天使のパンを食べた。26 神は彼らに食物をおくって飽き足らせられた。27 神は彼らの上に肉をちりのように降らせ、翼ある鳥を海の砂のように降らせて、28 その宿営のなか、そのすまいのまわりに落された。29 こうして彼らは食べて、飽き足ることができた。30 ところが彼らにその望んだものを与えられたからである。31 神の怒りが彼らにむかつて立ちのぼり、彼らのうち、最も強い者を殺し、イスラエルのうちのえり抜きの者を打ち倒された。32 すべてこれらの事があつたにもかかわらず、彼らはなお罪を犯し、そのくすしきみわざを信じなかった。
- 33 それゆえ神は彼らの目を息のように消えさせ、彼らの年を恐れをもつて過させられた。34 神が彼らを殺されたとき、彼らは神をたずね、悔いて神を熱心に求めた。35 こうして彼らは、神は彼らの岩、いと高き神は彼らのおがなぬしであることを思い出した。36 しかし彼らはその口をもつて神にへつらい、その舌をもつて神に偽りを言った。37 彼らの心は神にむかつて堅実でなく、神の契約はあわれみに富まれるので、38 しかし神はあわれみに富まれるので、彼らの不義をゆるして滅ぼさず、しばしばその怒りをおさえて、その憤りをことごとくふり起されなかった。39 また神は、彼らがあつた肉であつて、過ぎ去れば再び降りこぬ風であることを思い出された。
- 59 神は聞いて大いに怒り、イスラエルを全くしりぞけられた。60 神は人々のなかに設けた幕屋なるシロのすまいを捨て、61 その力をとりことなさせ、その栄光をあだの手にわたされた。62 神はその民をつぎにわたした、その嗣業にむかつて大いなる怒りをもらされた。63 火は彼らの若者たちを焼きつくし、彼らのおとめたちは婚姻の歌を失い、64 彼らの祭司たちはつるぎによつて倒れ、彼らのやもめたちは嘆き悲しむことさえしなかった。65 そのとき主は眠つた者のさめたように、勇士が酒によつて叫ぶように目をさまして、66 そのあだを撃ち退け、とこしえの恥を彼らに負わせられた。67 神はヨセフの天幕をしりぞけ、エフライムの部族を選ばず、68 ユダの部族を選び、神の愛するシオンの山を選ばれた。69 神はその聖所を高い天のように建て、とこしえに基を定められた地のように建てられた。70 神はそのしもべダビデを選んで、羊のおりから取り、71 乳を与える雌羊の番をするところからつれて来て、その民ヤコブ、その嗣業イスラエルの牧者とされた。72 こうして彼は直き心をもつて彼らを牧し、巧みな手をもつて彼らを導いた。





ダビデが恵みを歌う

1 主よ、私はとこしえにあなたのいつくしみを歌い、私の口をもつてあなたのまことをよろずよに告げ知らせます。

2 あなたのいつくしみはとこしえに堅く立ち、ゆるぐことはありません。

主がダビデに誓う

3 あなたは言われました、「私は私の選んだ者と契約を結び、私のしもべダビデに誓った、

4 『私はあなたの子孫をとこしえに堅くし、あなたの王座を建てて、よろずよに至らせる』」。

ダビデが恵みを歌う

5 主よ、もろもろの天に、あなたのくすしきみわざをほめたたえさせ、聖なる者のついで、あなたのまことをほめたたえさせてください。

6 大空のうちに、だれか主と並ぶものがあるでしょうか。神の子らのうちに、だれか主のような者があるでしょうか。

7 主は聖なる者の会議において恐るべき神、そのまわりにあるすべての者にまさって大いなる恐るべき者です。

8 万軍の神、主よ、主よ、だれかあなたのように大能のある者があるでしょうか。

9 あなたは海の荒れるのを治め、その波の起るとき、これを静められます。

10 あなたはラハブを、殺された者のように打ち砕き、あなたの敵を力ある腕をもつて散らされました。

主がダビデに誓う

11 もろもろの天はあなたのもの、地もまたあなたのもの、世界とそこの中にあるものとは、あなたがその基をおかれたものです。

12 北と南はあなたがこれを造られました。タボルとヘルモンは、み名を喜び歌います。

13 あなたは大能の腕をもたれます。あなたの手は強く、あなたの右の手は高く、

14 義と公平はあなたのみくらの基、いつくしみと、まことはあなたの前に行きます。

ダビデが恵みを歌う

15 祭の日の喜びの声を知る民はさいわいです。主よ、彼らはみ顔の光のなかを歩み、

16 ひねもす、み名によつて喜び、あなたの義をほめたたえます。

17 あなたは彼らの力の栄光だからです。われらの角はあなたの恵みによつて高くあげられるでしょう。

18 われらの盾は主に属し、われらの王はイスラエルの聖者に属します。

主がダビデに誓う

19 昔あなたは幻をもつてあなたの聖徒に告げて言われました、「私は勇士に栄冠を授け、民の中から選ばれた者を高くあげた。20 私はわがしもべダビデを得て、これにわが聖なる油をそそいだ。21 わが手は常に彼と共にあり、わが腕はまた彼を強くする。22 敵は彼をだますことなく、悪しき者は彼を卑しめることはない。23 私は彼の前にもろもろのあだを打ち滅ぼし、彼を憎む者どもを打ち倒す。24 わがまことと、わがいつくしみは彼と共にあり、わが名によつて彼の角は高くあげられる。25 私は彼の手を波の上におき、彼の右の手を川の上におき、26 彼は私にむかい、『あなたはわが父、わが神、わが救の岩』と呼ぶであろう。27 私はまた彼をわがういごとし、地の王たちのうちの最も高い者とする。28 私はとこしえに、わがいつくしみを彼のために保ち、わが契約は彼のために堅く立つ。29 私は彼の家系をとこしえに堅く定め、その位を天の日数のようにながらえさせる。

神の怒り

誓いが破られている

38 しかしあなたは、あなたの油そそがれた者を捨ててしりぞけ、彼に対して激しく怒られました。彼の冠を地になげうって、けがされました。あなたはその城壁をことごとくこわし、そのとりでを荒れすたれさせられました。41 そこを通り過ぎる者は皆彼をかすめ、彼はその隣り人のあざけりとなりました。42 あなたは彼のあだの右の手を高くあげ、そのもろもろの敵を喜ばせられました。43 まことに、あなたは彼のつるぎの刃をかえして、彼を戦いに立たせられなかったのです。44 あなたは彼の手から王のつえを取り去り、その王座を地に投げすてられました。45 あなたは彼の若き日をぢぢめ、恥をもつて彼をおおわれました。(「セラ

89

46 主よ、いつまでなのですか。とこしえにお隠れになるのですか。あなたの怒りはいつまで火のように燃えるのですか。47 主よ、人のいのちの、いかに短く、すべての人の子を、いかにはかなく造られたかを、みこころにとめてください。48 だれか生きて死を見ず、その魂を陰府の力から救いようものがあるでしょうか。(「セラ

恵みが無い

49 主よ、あなたがまことをもつてダビデに誓われた昔のいつくしみはどこにありますか。51 主よ、あなたのしもべがうけるはずかしめをみこころにとめてください。主よ、あなたのもろもろの敵は私をそしり、あなたの油そそがれた者の足跡をそしります。私はもろもろの民のそしりを私のふところにいだいているのです。52 主はとこしえにほむべきかな。アアメン、アアメン。

**回ソロモンの神殿で仕える歌うたい**  
2Ch 5:12 またレビびとの歌うたう者、すなわちアサフ、ヘマン、エドトンおよび彼らの子たちと兄弟たちはみな亜麻布を着、シンバルと、立琴と、琴をとって祭壇の車に立ち、百二十人の祭司は彼らと一緒に立てラッパを吹いた。:13 ラッパ吹く者と歌うたう者とは、ひとりのように声を合わせて主をほめ、感謝した。そして彼らがラッパと、シンバルとその他の楽器をもって声をふりあげ、主をほめて「主は恵みあり、そのあわれみはとこしえに絶えることがない」と言ったとき、雲はその宮すなわち主の宮に満ちた。

**回ソロモンの神殿奉獻の祈りの最後**  
2Ch 6:42 主なる神よ、どうぞあなたの油をそそがれた者の顔を退けないでください。あなたのしもべダビデに示されたいつくしみを覚えて下さい。」。

**回ソロモンの祈りに答える**  
2Ch 7:17 あなたがもし父ダビデの歩んだようにあたしの前に歩み、あたしが命じたとおりにすべて行って、あたしの定めとおきてとを守るならば、:18 あたしはあなたの父ダビデに契約して『イスラエルを治める人はあなたに欠けることがない』と言ったとおり、あなたの王の位を堅くする。:19 しかし、あなたがたがもし翻って、あたしがあなたがたの前に置いた定めと戒めとを捨て、行って他の神々に仕え、それを拝むならば、:20 あたしはあなたがたをあたしの与えた地から抜き去り、またあたしの名のために聖別したこの宮をあたしの前から投げ捨てて、もろもろの民のうちにこゝとあざとし、笑い草とする。

回ダビデの子

Mtt 1:1 アブラハムの子であるダビデの子、イエス・キリストの系図。  
Act 2:30 彼は預言者であって、『その子孫のひとり王位につかせよう』と、神が堅く彼に誓われたことを認めていたので、:31 キリストの復活をあらかじめ知って、『彼は黄泉に捨ておかれることがなく、またその肉体が朽ち果てることもない』と語ったのである。  
Rom 1:2 この福音は、神が、預言者たちにより、聖書の中で、あらかじめ約束されたものであって、:3 御子に關するものである。御子は、肉によればダビデの子孫から生まれ、:4 聖なる靈によれば、死人からの復活により、御力をもって神の御子と定められた。これがあたしたちの主イエス・キリストである。  
2Tm 2:8 ダビデの子孫として生まれ、死人のうちからよみがえったイエス・キリストを、いつも思っていないさい。これがあたしの福音である。

回神の家の土台は堅く立つ

1Tm 3:15 万一あなたが選ばれる場合には、神の家でいかに生活すべきかを、あなたに知ってもらいたいからである。神の家というのは、生ける神の教会のことであって、それは真理の柱、真理の基礎なのである。  
Eph 2:20 またあなたがたは、使徒たちや預言者たちという土台の上に建てられたものであって、キリスト・イエスご自身が隅のかしら石である。  
Hbr 11:10 彼は、ゆるがぬ土台の上に建てられた都を、待ち望んでいたのである。その都をこるぎみ、また建てたのは、神である。  
Rev 21:14 また都の城壁には十二の土台があり、それには小羊の十二使徒の十二の名が書いてあった。

回御霊の歌、聖徒の祈りで誓う

キリストのことばが、あなたがたのうちに豊かに住むようにしなさい。知恵を尽くして互いに教え、忠告し合い、詩(詩篇)と賛美と靈の歌により、感謝をもって心から神に向かつて歌いなさい。  
(コロサイ人への手紙 3章16節)  
巻物を受け取ったとき、四つの生き物と二十四人の長老たちは子羊の前にひれ伏した。彼らはそれぞれ、堅琴と、香に満ちた金の鉢を持っていた。香は聖徒たちの祈りであった。彼らは新しい歌を歌った。  
(ヨハネの黙示録 5章8〜9節)

Jhn 1:14

そして言はるは肉となり、あたしたちのうちに宿った。あたしたちはその栄光を見た。それは父のひとり子としての栄光であって、めぐみとまこととに満ちていた。

Rev 22:21

主イエスの恵みがあなたがたすべての者と共にあるように。

回契約の箱の前で仕える歌うたいたち

1Ch 16:4 ダビデはまたレビびとのうちから主の箱の前に仕える者を立てて、イスラエルの神、主をあがめ、感謝し、ほめたたえさせた。1Ch 25:1・・・アサフ、ヘマンおよびエドトンの子らを勤めのために分ち、琴と、立琴と、シンバルをもって預言者にした。1Ch 25:3・・・琴をもって主に感謝し、かつほめたたえて預言したその父エドトン・・・1Ch 25:5 これらは皆、神がご自身の約束にしたがって高くされた王の先見者ヘマンの子たち・・・

回ダビデの墓屋の契約の箱の前で、主に感謝をささげる

1Ch 16:8-36

(詩篇105:1-15)

:8-11 主に感謝し、そのみ名を呼び、そのみわざをもろもろの民の中に知らせよ。主にむかって歌え、主をほめ歌え。そのもろもろのくすしきみわざを語れ。その聖なるみ名を語れ。どうか主を求めよ。つねにそのみ顔をたずねよ。そのしもべアブラハムのすえよ、その選ばれたヤコブの子らよ。主のなされたくすしきみわざと、その奇蹟と、そのみ口のさばきとを心にとめよ。彼はわれわれの神、主にいます。そのさばきは全地にある。主はとこしえにその契約をみごころにとめられる。これはよきように命じられたみ言葉であって、アブラハムと結ばれた契約、イサクに誓われた約束である。主はこれを堅く立ててヤコブのために定めとし、イスラエルのためにとこしえの契約として、言われた、「あなたにカナンの地を与えて、あなたがたの受け継ぐ嗣業の分け前とする」と。その時、彼らの数は少なく、歌えるに足らず、かの国で旅びととなり、国から国へ行き、この国からほかの国へ行つた。主は人の彼らをしえたいげのをゆるさず、彼らのために王たちを懲しめて、言われた、「わが油をそそがれた者たちにはあってはならない。わが預言者たちに害を加えてはならない」と。  
(詩篇96)

:23-1

全地よ、主に向かつて歌え。日ごとにその歌を言べ伝えよ。もろもろの国のうちにその栄光をあらわし、もろもろの民の中にくすしきみわざをあらわせ。主は大いなるかたにいまして、いとほめたうべき者、もろもろの神にまさって、恐るべき者だからである。もろもろの民のすべての神はむなしい。しかし主は天を造られた。響と威厳とはそのみ前にあり、力と喜びとはその聖所にある。もろもろの民のやからよ、主に唄せよ、栄光と力とを主に唄せよ。そのみ名にふさしい栄光を主に唄せよ。供え物を撰んで主のみ前にきたれ。聖なる装いをして主を拝め。全地よ、そのみ前におののけ。世界は堅く立つて、動かされることはない。天は喜び、地はたのしみ、もろもろの国民の中に満つるものとは鳴りどよめき、田畑とその中のすべての物は喜び歌う。そのとき林のもろもろの木も主のみに喜び歌う。主は地をさばくためにこられるからである。  
(詩篇106:1/47-48)

:34

主に感謝せよ、主は恵み深く、そのいつくしみはとこしえに絶えることがない。また言え、「われわれの救の神よ、われわれを救い、もろもろの国民の中からわれわれを集めてお救いください。そうすればあなたの聖なるみ名に感謝し、あなたの誉を語るでしょう。イスラエルの神、主は、とこしえからとこしえまでほむべきかな。